

18 古文2 内容を理解する

組			
番号			
氏名			

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

〔平成十六年 宮城県公立高校入試問題〕

今日は、その事をなさんと思へど、^①あらぬ急ぎ先づ出で来て、まぎれ暮らし、待つ人は障り有りて、^②頼めぬ人は来たり、頼みたる方のことは違ひて、思ひよらぬ道ばかりかなひぬ。わづらはしかりつる事はことなくて、やすかるべき事はいと心苦し。日々に過ぎ行くさま、かねて思ひつるには似ず。一年の中にもかくの如し。^③一生の間も又しかなり。

（「徒然草」による）

① 右の文章中に「^①あらぬ急ぎ」とありますが、その意味として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 思いがけない急用
- イ 次々と生じる急用
- ウ 憂うつになる急用
- エ とても大切な急用

ア

② 右の文章中に「^②頼めぬ人」とありますが、これと反対の意味を表している言葉を、文章中からそのまま抜き出して答えなさい。

待つ人

③ 右の文章中に「^③一生の間も又しかなり。」とありますが、その内容を説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人生では、以前から願っていたことが、なにげないきっかけで成し遂げられるものである。
- イ 人生では、自分が考えているのとは違った形で、物事が進行してしまいがちなものである。
- ウ 人生では、簡単に思える物事が、面倒でやっかいな事態になってしまいがちなものである。
- エ 人生では、幸運と災いとが常に互い違いに現れ、人々を一喜一憂させてしまうものである。

イ

【注】「又しかなり」⇨また同じようなものである。